

第5回 安中市庁舎に関わる市民懇談会会議録

開催日時	令和2（2020）年10月26日（月）午後6時35分から午後8時4分まで
開催場所	安中市役所本庁舎3階 第305会議室（安中市安中一丁目23番13号）
出席委員 （敬称略）	小竹裕人（会長）、小川博（副会長）、吉田茂、小林和樹、高橋正章、前島正樹、佐俣利幸、三好建正、竹内佳重、半田樹衣、藪ほの郁、久米史可、三辻茂、石井清和、北野敦則、大石祐子（計16人）
欠席委員	河井香織、恩幣宏美（計2人）
事務局等	阿部総務部長、地域力創造アドバイザー大山氏 [企画課] 田中課長、大野係長、金田主任 [建築住宅課] 田嶋係長
議事次第	事務局連絡、会長あいさつを行ったのち、2件の議事を議題とした。(1)は「提言書素案」について小竹会長より説明したのち、意見交換と質疑応答を行った。(2)は「その他」として委員から感想などをいただいた（途中休憩あり）。
傍聴者	11人
公開日	令和2（2020）年11月9日（月）

●会議内容は次のとおりです。

1 開会（午後6時40分開会）

2 会長あいさつ 副会長 小川 博

※会長到着までの間、懇談会設置要綱第5条第3項に基づき、副会長が職務を代理した。
〈あいさつ要旨〉

こんばんは。夕方のお疲れのところお集まりいただきありがとうございます。会長が道路事情のため遅れているため、代わってあいさつをする。懸案であった安中市庁舎の建設について、会議を5回積み重ね、提言書の最終案を仕上げなければならない時機となった。この市庁舎は50年、60年経ち、なんとしても新しいものを作らなければならない時機なので、委員の皆さんに意見を出していただき、市民に愛され、信頼されるような市庁舎が出来上がるように審議を進めていきたい。よろしく願いいたします。

[事務局連絡]

事務局：欠席委員の1人から素案に対するご意見として、使いやすい庁舎、コロナ対策を含めたデジタル化、市民スペースに関するマーケティングの重要性、市民の命を守る災害拠点性、についてメールをいただいた。今までの意見と相違しないため、

ご了解いただければ、素案に溶け込ませたい。意見の詳細は、休憩の際や会議終了後に事務局までご確認いただければと思う。

欠席委員の提出意見の詳細：

1. 誰もが使いやすい/広さも含めてについて

- ・市民にとってはバリアフリーの快適さや DV 相談など個人情報を含む相談があった際の安全な相談室などができればよいと思う。
- ・職員にとっては、縦割り行政の回避という視点からもオープンスペースは良いと思う。また、感染リスクも含めて、十分な会議スペースの確保は重要だと考える。

2. コロナウイルス対策も含めたデジタル化について

- ・デジタル化と新庁舎建設との関係性がはっきりしないため、今の庁舎ではインフラ整備が難しいことを明確に示されるほうがよいと思う。
- ・今後、コロナウイルス対策も含めてデジタル化を図るのであれば、大きな新庁舎必要？となるため、その点を考慮頂くほうが市民の納得も得られると思う。

3. マーケティング/市民スペースについて

来庁者数と市民ニーズを鑑み、費用対効果を適切に分析したうえで、検討いただきたい。市役所がどの程度活用されるのか、マーケティングとしての利益が不透明だと思う。

4. 市民の命を守る災害拠点について

安中高校跡地への建設と、現庁舎での建て替えでは、どれだけ安全かつ十分な対応が取れるだけの機能を有する災害拠点となるのか、それを明確に示していただきたい。庁舎に求める機能として最も重要な部分であるが、それが具体的にそれぞれの建設庁舎によって、どのように機能するのかがわかると良いと思う。

3 議事〔議長：副会長、会長〕

(1) 提言書素案について（意見）

〔会長より説明〕

会長：遅刻してしまい大変申し訳ございませんでした。会議 20 分前には着く予定が、道路が自然渋滞だったと思われるが初めてのことで、別のルートを使えばよかったと大変後悔している。提言書素案は事前に送付し、ご確認いただけたと思うが、前回からの変更点を説明する。

〈説明要旨〉

- ・「はじめに」の会長あいさつの部分に、前回立地の議論を行ったことを踏まえて、文言を追加した。
- ・5 ページの 2.(2) の最終行に、引用した意見の記載を追加した。なお、内容としては既出の文面の中に吸収されるものとして、文言の追加は行っていない。

- ・ 7 ページの 3. (2) の最終行から 3 行目に、「例えば、エントランスから見えるガラス張りの議場とすること等も一案である。」の文言を提出意見により追加。議場が暗いという意見があったのを踏まえて、見通しがいいものもいいとの意見を反映したものの。
- ・ 8 ページの 3. (4) の一つ目の中ポツ部分に、「デジタル化を推進し」、「また、今後の更なる情報通信量増大に対応できるようなシステム・インフラ整備とすることが必要である。」を委員の意見により、強調する形で追加している。
- ・ 庁舎の立地については、前回より前から意見が出ていたが、前回の第 4 回懇談会でまとめて集中的に議論した。その内容を今回素案の 10 ページ以降に、「4. 庁舎整備の立地」として、(1) 立地を考える上での前提、(2) 整備候補地: 現在地について、(3) 整備候補地: 旧安中高校跡地について、(4) その他(今後のまちづくりのあり方)、の 4 つにまとめ、それぞれ素案に記載のとおり説明。
- ・ 「新庁舎部分」という語句は、現在「新庁舎」と呼んでいる既存の建物を指し、新しく整備する庁舎を指しているのではない。紛らわしいが新しく整備する庁舎は「新しい庁舎」という語句で使い分けている。

[意見交換、質疑応答]

会長： 4. に立地の部分を追加し、後は微修正というものだが、説明は以上となる。今回も挙手制で、意見交換をお願いしたいが、ご意見はいかがか。

委員： 10 ページの立地について、「現在地」と「旧安中高校跡地」のどちらかに建設することがよい、とのことだが、第 3 の候補地は完全に切るということか。それとも合併特例債を使用しないとすれば、第 3 の候補地もあり、となるのか。

事務局： 合併特例債の使用を考慮しこのような記載となっているが、考慮しないとすると第 3 の候補地もあり得るかもしれない。

委員： 「新たな土地を選定・購入は考えにくい」という理由にもなっているが、合併特例債の期限が令和 7 年度中の完成ということだが、新たな土地を選定・購入の場合はその期限までに完成できないという見方でよいのか。

事務局： 用地の選定からなにからとなると、合併特例債は使えないのではないかという見方である。

委員： 新たな土地を選定・購入にはどのくらいの期間、何年くらいかかると考えていたか。

事務局： 細かい数字は計算できていないので申し上げられないが、現在地、旧安中高校跡地であっても、合併特例債の期限からすると、相当タイトなスケジュールである。その他の立地では、より時間が多くかかるであろう、という想定である。

委員： 最初から 2 つの候補地ありきであれば、3 つ目の候補地という考慮を考えさせるのはいかがなものか。委員に意見を求めて、第 3 の候補地もあり、という話のなかで進んでいて、今日来たら 2 つしかない、とまとまっているとすると、それはよくわから

ないところである。「合併特例債期限を考慮すると新たな土地を選定・購入は～」と、
いうのは一番初めから出ていた話だったので、いきなりそれが理由というのも疑問。
第3の場所でも色々考えられるのではないかと私も言ったが、それが少数の意見か
もしれないが、意見はそれぞれの意見があって、それを集約、選択、多数決で決める
わけでないので、第3の意見として良いと思っていた。2つに絞るのであれば、最初
から2つの候補地に限定して話し合いを進めた方がよかったのではないかと思うが、
いかがか。

会長：まとめるという立場からすると、意見の数も考慮してまとまっているというのも事
実。提言書でその他が消えるわけでもないのも事実だが、周辺環境としては、事務局
が言っていることも事実。ご意見を「中長期的には、住みやすい安中市を目指し～」
の部分に込められているつもりではある。

委員：第3の候補地が、整備候補地として掲げられていないが。

委員：第3の候補地については、初めに私が手を挙げて提案したものに、他の委員も同調
したものだが、これからの安中市の発展を考えるのであれば、第3の候補地がいいと
初めから思っていたが、言うことが違ったのかもしれない。それがなければ、事務局
で、現在地か旧安中高校跡地に絞ったのだろうが。たまたま第3の候補地でもいい、
となるのなら、これからの安中市の発展を考えるのであれば、これから人口減少も進
む、色々来る、ので、第3の場所に出て、人口を増やしたり、商業・工業施設を誘致
したり、信越線の南側にあれだけ田んぼがあるのだから。水害の関係は土地を上げたり
すれば済むことである。合併特例債は、後5年で設備が仕上がりればいいが、ずっと
前から議会でも揉めている。立地を決めてこれから図面を書いて、やるとすぐ5年く
らい経つと思うが、もし特例債にひっかからない場合はどうするのか。事務局はどう
か。

事務局：今回の提言書の素案の内容で確定、ということではないので、合併特例債を考慮
しなければ、という前提を入れた上で、第3の候補地もあり得る、ということで追記
するのでもよろしいか。

委員：委員の皆さんの意見を出したときに、2か所のどちらかに建設することが良い、と
いう話までは行ってなかったので、この書き方は問題がある。前提として懇談会は広
く意見をもらい、否定するのではなく、色々な意見をいただきたい、ということで進
めてきたのに、ありきになってしまうとおかしい。

会長：懇談会のまとめ方として、その他の場所、はきちんと入れておくべきだった。2つ
に絞っているというよりも、色々な議論のなかで勝手に解釈してしまったのが、まず
かったのかもしれない。もう一度記載内容を修正するが、後ほど委員の皆様にご確認
いただく時間はあるかは事務局と確認するので、保留でお願いする。

会長：意見提出シートのなかに、土地用途規制について、きちんと書いた方がいいのでは
という意見もあったが、土地用途規制からどの立地に建てるか決めるわけではなく、

変更プロセスにも時間がかかるが、行政に頑張ってもらって変えてもらうしかないと思うが、提言書素案に盛り込んだ方がよいか。

委員：用途地域の変更は、たぶん高崎市は色んな施設ができる度に、おそらく1年かけて変えているので、市役所の方が大変だが1年くらいで、市が決めることなのでどんどん、どうにでも変えられると思う。

会長：用途地域については、事務局に頑張ってもらって間に合わせてもらうしかない。やってみたら用途規制間に合わなかったというポカミスはしないと思うので、盛り込まなくてもいいか。

委員：用途地域の変更は、簡単にはできず、1年間はかかるのは承知している。12ページの4.(4)のその他(今後のまちづくりのあり方)の「まちづくりを推進することを今後視野に入れるべきである。」のなかで、用途地域を変更していないと、他の企業が来るのにも用途地域を見て、対応を考えるものと思う。(3)の「商業施設を誘致する(西毛広域幹線道路の整備により交通量が増すため出店がしやすくなると思われる)」を加味しても、用途地域をまず変更しておくことによって、各企業が来やすくなるということがでてくる。雑居ビルを作るにしても、ネックになってできないとか、商業地域くらいにしておかないと、商店、企業の進出が難しい。是非とも用途地域の変更は、他の民間企業の人が見たときに、検討に値するように、模索・調査していこうということもあると思う。是非とも盛り込んでほしいと考えている。

会長：どちらかというところではなく、周辺のエリア、産業集積に関連した用途規制のお話だと思う。4.(4)のその他の箇所は、庁舎に付随するものなので、ここに記載できるかと思うが、他の委員はいかがか。事務局で預かるか。

委員：10年後、20年後の安中のことを本当に考えるなら、どう考えるか、が一番大切だと思う。議員がどう考えるかもあるが。現状うんぬんでなく、これから若い子が育って、安中市を担っていくには、ちゃんとここである程度のことを考えるのがいい気がする。

会長：意見を取捨選択するというわけではなく、出た意見をなるべくまとめて記載する方向を取りたいと思うので、周辺の用途規制は、4.(4)のその他に記載したいと思う。あくまでもその他なので、文言は会長と事務局の方で、調整したいと思うのでご了承願う。このことについてご発言はあるか。

会長：なければ後ほどこの件についてはお話する。他の意見はいかがか。

委員：11ページの2つ目の中ボツの部分で、「新庁舎部分をそのまま活用し、中庁舎・旧庁舎相当分を新たに建設する場合、本提言書で示した「誰もが使いやすい・わかりやすい庁舎」は十分には実現できないと思われる。」と記載されているが、提出意見のシートを見ると、そこまできつく言っている表現はなかったと思う。旧安中高校跡地への移転ありきになりすぎているのではないかと思う。

委員：前回の会議で私が発言している。意見提出シートにも書いたので、発言があること

はあると思う。

会長：ご意見があった、ということでご本人も言っているので、記載するというごことをお願いしたい。他にはいかがか。

会長：ご発言もないようなので、これで、議題（１）については一区切りとさせていただく。今回いただいた、その他の場所についてと、用途規制の部分は、提言書に反映させていただくが、文言は会長と事務局で相談させていただくのでよいか。事務局としては委員皆様に内容をご確認いただく時間はないということよいか。

事務局：今一度、提言書素案を委員の皆様にご確認いただいた方がよいと考えている。なるべく急いでご確認いただき、ご意見を返していただく形になってしまうが。

会長：私も事務局に時間があるならそれがよいと思っていたので、よかった。ズルをするわけではなく、一回フィードバックさせていただき、ご確認いただければと思うがよろしいか。

（２） その他（ご感想など）

会長：庁舎関係の問題というのはなかなか難しく、委員の皆様も非常に発言するのが厳しかったのではないかと推察する。外部からも色んなアプローチがあって、前回の懇談会の後で、非常に発言がしづらかったと数名の委員から聞き、ちょっとまずいとは思った。そのような、きな臭い部分もあったが、ここで提言書としてまとまる形になったので、ご意見というよりは感想めいたものを一言ずつ、大体一人最大１～２分程度でいただけたらと、事務局と相談したが、よろしいか。それでは、中身に触れられても結構ですし、感想めいたものやコメントを、休憩後からいただければと思うのでよろしく願います。

〈休憩約 10 分〉

会長：休憩時間中に、提言書に変更を加えることの大枠について、委員皆様の賛同を得ておきたいということで事務局と相談していた。素案の 10 ページの 4 .庁舎整備の立地について、これだけ読むと候補地が 2 つに絞られてしまっているというご意見もあった。その他の場所を捨てているわけではないので、（１）の一つ目の中ポツの 2 文目として、「その他の選択肢も考えるべき」という趣旨の一文を入れたい。細かい文言はお任せいただきたい、という相談であった。用途地域については、12 ページ 4 .（４）その他に加えたいと思っている。こちらは事前に考えてみたが、「市役所の立地の方向性が決まった際には、適切な土地用途の変更をお願いしたい」という趣旨の文書を付け加えたい。これは市役所庁舎だけでなく、周辺の最適な土地利用をきちんと行政で考えるように、というエールのような文言である。この 2 点の方向性についての委員皆様のご意見などは、いかがか。

委員：第3の候補地を入れるとなった場合に、4.の現（3）と現（4）の間に「整備候補地：第3の候補地」と入れ、メリット、デメリットを記載することになるのか。「現在地」と「旧安中高校跡地」が書いてあるのに、「その他の場所」がないのはおかしいのかなと、具体的に書かないのか。

会長：そこまでの意見の数が出てきているかどうかということになるが、いくつかのご発言が出ていたと思うので、どうにかなるか。入れないとバランスが悪くなる。文言が思いつかないので、一旦考えさせていただき、委員の皆様にご確認いただき、フィードバックする。「整備候補地」として立つかどうかのボリューム感が分からないので、これまでのご発言を見直すので、一旦お任せいただければと思う。

[感想]

会長：委員それぞれで色々な想いがありますが、最後に一言ずつ順番に、行政に対して、色々のご発言、ご感想をいただきたいと思います。

委員：全5回まで参加して、委員皆様のご意見が上手く組み込まれていると思っている。松井田庁舎と、本庁舎を建てた場合に、一か所にまとめられず、2か所になるかもしれないが、素案5ページの2.庁舎整備の方向性の（2）の部分に、松井田庁舎を使う場合に、どのような方法で行うとよいか、書かれている。特に入れるようには発言しなかったが、松井田庁舎の議場を、新たな庁舎を建てるときに、松井田庁舎の議場が使えれば、少しでも建設コストが抑えられると思っていたが、載っていなかった。いずれにしても使い勝手のいい、コンパクトな庁舎ができれば懇談会を行った意味があると思っている。

委員：毎回会議に出て色々な意見を聴かせてもらい、今提言書も色々みたなかで、私は若い世代の分類に当たるが、今後の安中市のことを考えていくのであれば、若い人の意見も取り入れてもらいたい。第3の場所も難しいとは思いますが、そういう場所で安中市の発展を目指していくのもよいのかなと思う。

委員：色々な意見を出してきたが、ある程度は事務局でまとめてもらい、みんなに負担のかからないような形でやってもらいたいと思う。

委員：安中市の今後のことを考えている方がたくさんいると知れたのは自分にとって勉強になったので、参加できてよかった。若い人達が今後の安中市を盛り上げていくためには、若い人の意見などが出せる場が、今後も繋がっていけばいいと思う。今回参加した提言書の意見がどれだけ取り入れられて、どのようなものが建つのか楽しみである。

委員：最後になって合併特例債の話が出て、使用する場合には現在地や旧安中高校跡地でもぎりぎり、第3の候補地では無理だろうという残念な情報が入ってしまった。この懇談会自体がもっと早く発足していれば違った議論もできたということも今日感じてしまった。とにかく、この懇談会に関われたことは今後の糧に、活かしていきたい

いと思う。意見を言う立場ゆえに、色んなことを言いすぎたかもしれないが、ご容赦
いただきたいと思う。ありがとうございました。

委員：色んな意見があつていいと思う。庁舎を建てるに当たり、場所の選択肢が色々ある
なかで、将来に向かって発展していくものを作ってもらえればと思う。現在地でも旧
安中高校跡地でもその他の場所でもいいが、その後の計画として、庁舎の立地を起点
として発展していくことが今後の安中市のためになる。人口減少を食い止めなけれ
ばならない。減っていく一方の統計が出ているがそれにこだわらず、未来が明るい、
という前向きな方向を見れば、そういう考え方もあると思うので、意見として取り入
れていただければと思う。お世話になりました。

委員：会議の内容的に発言するのがかなり難しい点があつた。最終的には、旧安中高校跡
地のあたりでまとめればいいと思う。やはり色々な考え方があるが、皆様のご協力で
実現できればと思う。

委員：はじめてこのような会議に参加して、委員皆様の意見が一つの提言書にまとまって
いく中に入り、間近で体験できて、いい学びになった。今後、この提言書がどのよう
に取り入れられて、新しい庁舎ができていくのかが楽しみ。

委員：このような会議にはじめて参加して、すごくいい経験になった。あまり発言できな
かったが、これから私たちが使う市役所がどうなっていくのか楽しみである。

委員：私にはない視点の意見が多く聴けて、大変勉強になった。庁舎のことを考えるに当
たり、事務局が毎回丁寧なわかりやすい資料をきちっとまとめていたので、考えるた
めの材料があり、検討できたのでありがたかった。短い時間で、他の業務もあるなか
で議事録や提言書素案などをまとめてもらえたので、会長と事務局の骨折りに感謝
している。私にも子どもがいるので、将来の市民に負担が多く残らない形で、なんと
か作り上げてほしいということをもう一度お願いしたい。ありがとうございました。

委員：安中のまちづくりに関わる庁舎、がテーマと聞いて応募したが、議題にまちづくり
が入ってないがどうか、と申し上げた。第4回目、第5回目になって、まちづくりと
いうキーワードが出てきて、議論が活発になったと思う。再三まちづくりについて発
言してきて、このように取りまとまったので、良かった。この懇談会の後に、検討委
員会があるということも前回の会議で聞いたが、そのなかにどのように取り入れら
れて、具現化されていくのか楽しみである。是非取り入れていただくように切に願
いする。

委員：関係者皆様のご尽力により、良い提言書ができるのではないかとと思う。懇談会の性
質上、意見を一つにするというものではなく、色々な意見、やり方が出るので、両論
併記で仕方がないと思う。個人的には、庁舎は旧安中高校跡地に建設するのが一番良
いのではという強い気持ちがある。現場事務のある東京電力の元営業所の場所に谷
津庁舎があり、同じく現場事務のある上下水道部が入っている。既に丁度いい建物を
取得してあるので、谷津庁舎は現在入っている部署を入れたまま維持すればいいの

ではないかと思う。元松井田町役場であった、松井田庁舎は、新しい庁舎ができて、支所として絶対に残さなければ困る。現在建っている新庁舎は、美術館、図書館などの教育委員会関係の施設として利用するのが一番いいのではないかと思う。このタイミングで意見を言ってしまう申し訳ないが、このような気持ちで会議に参加していた。ありがとうございました。

委員：学識経験者という形で懇談会に参加したが、安中市民でないので客観的に、専門知識が必要なきにはしっかり話をしようと思っていたが、あまり披露する場面がなく、お役に立てず申し訳ない。このような懇談会は、群馬県内だけでなく、あらゆる地方行政で行われており、私も他自治体の会議に参加させていただいたことがある。今後人口減少のなかで公共施設の統合化は、どこの地方行政も頭を悩ませている。トップダウンより今はボトムアップの形で市民の意見を聴きつつ、より良いまちづくりをしていこうという地域がたくさんある。そのため、委員の皆様の見解は非常に大事になってくるので、今後、庁舎が3つあるという話もあったが、どうしていくのか将来的には出てくると思う。市民の方々が積極的に参加してより良い安中市をつくっていく、というようにしていただけたら、ありがたいと思う。

委員：この懇談会で新しい庁舎を作る際の色々な良い意見が出て有意義であったと思う。ただ考えるのが難しかったのが、財政的、時間的な前提としてどうなのかということ。お金がいくらでも使えるなら望ましい方向もあるが、合併特例債を使えば新しい庁舎は十分にできるのか、もっと節約した方がよいのか、によっても考え方は違ってくる。また、庁舎を運営する職員が、運営する側として現在地がどうしても使いづらいつているのか、別に現在地でもいいのか、実際の使い勝手の視点を知らなかったと思った。

副会長：提言書素案がしっかりできているので、改めて言うことはないが、区の仕事のなかで一週間に一回は役所に来るなど、行政との橋渡しをしている。初めての区長としての仕事で、大雨が降り道路が冠水し、道路に土が流れてしまった際に、土木課にどうにかするように伝えに行った。市道であればすぐに対応してくれたが、すぐ隣に細い農道やごみステーションがあったが、農道は松井田庁舎だから松井田に行くように言われ、松井田庁舎にある農林課に出向き、対処してもらった。同じ大雨で水道管が露出してしまったのだが、なんとか処理してもらえないか伝えたら、それは谷津庁舎に行け、ということだった。そして谷津庁舎にある上下水道部まで行った。今度はごみステーションはクリーンセンターに行け、という。つまり、窓口がバラバラの場合は非常に大変である。仕事をやってみるとよくわかる。今は一週間に一度、市役所に来るので、どこでどういう仕事をやっているのかわかるから、なんとか能率的にできるが、庁舎が分散していると大変だということをよく体験した。今回は庁舎の機能をより集約するとなると、細野や坂本、白井など、本庁舎からかなり遠いところに住んでいると、現在地まで1時間くらいかかってしまうので、松井田の方が心配になる。

きちんと松井田にも窓口を用意して、安心させることができれば、区長会でも話ができるかなと思う。あくまでも提言書なので実現できるかはわからない。この地域にいかにか人を集めるかは大きな課題であるが、旧安中高校跡地に移転する場合は、現在地に建っている新庁舎1階には、人が集まるように道の駅やショッピングセンター、物産展などが作られるという話も書いてある。2階、3階にはギャラリーや美術館とも書いてあるが、安中市にも大活躍するような美術家はたくさんいらっしゃる。そのような方たちの作品などを展示する場所が安中には全くなく、他にはそのようなまちはないのではないかなと思う。年に一度体育館を使った、市民展があるが、絵画、陶芸、彫刻、ガラス工芸、書道、パッチワークなど展示するが照明設備がない。せっかくの美術作品が綺麗に見えないような欠点があるので、しっかりした美術館があることで、立派なまちになるのかもしれない。日本の伝統文化である、お茶やお花、書道から若い人が遠ざかっているが、それらを行うことで、普及、継承もできる。そのような場所ができれば、安中市に若い人が集まって来れるのかなと思う。とにかく身の丈に合った防災設備のしっかりした市庁舎を期待したい。合併特例債が令和7年度までとのことだから、それまでになんとか仕上げ、市民に愛されるような市庁舎ができるとよいと思う。

会長：最後なので申し上げてしまうが、市庁舎の議論はもっと前にするべきであったのではないかな。今の市長でなく、前の市長が建て直さないと書いていた。もっといいタイミングがあったのではないかな。そのシワ寄せが今ここに来て、ここになっている。とても厳しい状況のなかでの議論だったのではないかなと思う。委員の皆様も負担だったと思う。どうしても工事には業者の見積もりが必要になってくるが、見積もりを取るためにもお金が必要になってくるが、その予算もない。そのような手探り状態で委員の皆様にご発言いただくのもなかなかきついと正直思っていた。大変本当に申し訳ないです。かといって、適当な議論をしているわけではなく、大枠はある程度お示ししなければならぬし、嘘は付けないし、どうしようかというのがずっと悩みの種であった。ひとまず一区切りということで色々なご意見をいただき、今日まだ反映できていない意見は、後で修正させていただくことでお許しいただきたい。大変皆様方、全5回、ありがとうございました。お疲れ様でございました。

会長：私もコメントさせていただいた。そのほか委員の方からなにかあるか。よろしければ、これで議長の任を解いていただき、事務局に進行を戻す。

4 その他

- ・安中市庁舎に関わる提言書の手交式日程について
(日時：令和2年11月下旬頃 平日(日中)の1時間程度を予定)
(場所：安中市役所本庁舎2階 会議室(調整中))

[事務連絡]

事務局：今回の意見交換を踏まえて、第3の候補地と用途地域の変更の部分の記載をした提言書素案をもう一度、委員皆様のお手元にお返りする。そのため、手交式の日程がずれるかもしれないが、ご了解いただければと思う。いずれにしても、平日の日中を予定させていただきたいので、ご都合の付かない方いらっしゃると思うが、ご容赦くださいますようお願い申し上げます。後日正式に完成した素案とともに開催通知を送付するので、ご都合の付く方はなるべくご参加くださいますと幸いです。

5 閉会（午後8時4分閉会）

事務局：これをもって第5回安中市庁舎に関わる市民懇談会を終了させていただきます。

6月からはじまり、全5回と長期間、長時間にわたりまして、公私ご多忙のなか、これまでご協力くださり、誠にありがとうございました。他の部署も含めて、何かとお世話になることがあるかもしれませんが、今後とも市政へのご理解とご協力をいただけますよう、どうぞよろしく願いいたします。改めまして、本日は誠にありがとうございました。お気を付けてお帰りください。